

ポリファーマシーをご存知ですか？



ポリファーマシーは、「Poly (多くの)」と「Pharmacy (調剤)」を合わせた言葉。単に飲んでる薬が多いだけでなく、多剤服用が有害となっている状態をいいます。

こんなことはありませんか？



こんなときにポリファーマシーが起こりやすい

複数の病気になってそれぞれで薬を処方される

飲み合わせが悪い薬が処方された

他の病気に影響ある薬が処方された

同じ効能の薬が複数の医療機関で処方された

健康被害が発生

6種類以上の薬を飲んでいるときに起こりやすい！

気になる症状があっても、勝手に薬をやめたり減らしたりせず、必ず医師や薬剤師に相談してください。

こうして防ごう 上手な薬との付き合い方

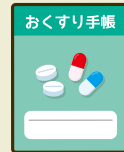
服用している薬に関心をもつ

どのような薬を服用しているのか、すべて飲みきれているのかなど、確認しましょう。



お薬手帳を活用する

お薬手帳は必ず持参し、処方された薬の履歴がわかるようにしておきます。



マイナ保険証を利用すれば薬剤情報を提供できます

服用している薬を薬剤師に伝える

薬の種類だけでなく、飲み残しや体調の変化など、服薬状況を伝えてください。



かかりつけ医・かかりつけ薬局をもつ

症状の把握や、相談しやすい環境づくりをしておきましょう。



『ポリファーマシー通知』の配布について

アサヒグループ健康保険組合では、処方されているお薬の種類が多い、または飲み合わせに注意が必要な可能性がある方に『ポリファーマシー通知』を送付いたします。通知を受け取られた方は、本通知とおくすり手帳を持って、かかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。

(注：単身赴任等で被保険者(社員)と被扶養者(ご家族)が別の住所にお住まいの場合でも、被扶養者の通知は被保険者の住所に届きます。)

通知対象者宛に親展で届きます。必ずご本人が開封してください。